

## 教科別研修講座報告

平成 30 年 7 月 3 日 (火)

C461 高等学校芸術科書道研修講座

「生徒に分かりやすい篆刻指導法～プロの技をつかめ!～」

講師 篆刻家 日展準会員 稲村 龍谷 氏



### 〈内容の詳細〉

#### 1 篆刻の歴史について (講義)

- ・教科書における篆刻のページの意図や図版選択に関する説明
- ・篆刻の取り組ませ方についての指導とポイント

#### 2 iPad を活用した篆刻指導のポイントについて～制作過程における印面の見方・考え方を学ぶ～ (講義・演習)

- ・印稿を布字するところから刻り進める過程の実際を、実物投影機で大きく手元を映しながら説明
- ・iPad とアップル TV を使った授業での活用法を紹介

#### 3 押印の仕方と印影の見方・考え方 (実習)

- ・作品作りの指導とともに、押印の仕方を個人個人に伝授

#### 4 鑑賞を深める効果的な指導について (グループ演習・講評)

- ・右図のように、完成した印を全て一覽にし、全員で鑑賞



### 〈受講者の声〉

- ・日本の代表的な篆刻の先生から直接ご指導いただけて、一言一言のお話の深さ、運刀の見事さ等々、全てにおいてハイレベルな内容でした。そして、生徒にも必要な「本物を見る」ということが自分自身もできてよかったです。「本物を見る」ことの大切さが身に沁みました。
- ・印稿まで送っていただき、当日も休憩も挟まず熱心に見ていただけて、日頃、書くばかりで、篆刻の勉強が十分できていなかったもので、1日どっぷり勉強ができてよかったです。補刀でこれだけ変化するのかという驚きがありました。
- ・内容・講師ともに最良の研修でした。理論と実践のバランスもよく、経験することで理解が深まりました。生徒への指導に生かす多くのアドバイスも有り難かったです。指導の時に迷っていたことも解消できました。
- ・印稿、布字をしっかりと書くことを生徒に伝えたいと思います。篆刻のおもしろさくもうひとひねりのプリントを生徒にも見せて、ハンコの概念しかない生徒に、印における様々な表現を教えていきたいです。
- ・プロジェクターを用いて講師の手元を大きく見ることができたので、とても分かりやすかったです。講師の実技の様子や資料を使つての説明における ICT 機器(実物投影機・iPad)の使い方を今後参考にします。